

EMBARGO:

2017年12月14日19時(JST)



No. 0449
Date: '17.12.14
(1/3)

P R E S S R E L E A S E

三菱ふそう

世界初の量産電気小型トラック「eCanter」を 欧州へ初投入

- 量産電気トラック「eCanter」を北米、日本に続き欧州へ投入
- グローバルな物流企業 DHL 社、DB シェンカー社、レーノス社とダクサ社が欧州での「eCanter」の最初のお客様
- 「eCanter」は輸送ビジネスの様々な用途に対応
- 「eCanter」は都市内配送業における地球に優しい代替輸送手段

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:マーク・リストセーヤ、以下 MFTBC)は、14日ベルリン市において、電気小型トラック「eCanter」を欧州市場のお客様へ納車しました。著名なグローバル企業である、DHL 社、DB シェンカー社、レーノス社とダクサ社が欧州で初めてのお客様となります。特に都市内配送業において、「eCanter」は地球に優しい輸送ビジネスをサポートします。

「私たちは欧州の最初のお客様へ世界初の電気トラックを納車します。9万 km 以上にわたる走行試験は、お客様へ提供する“eCanter”が信頼性と経済性に優れていることを保障します。“eCanter”はお客様に対し、静かな配送と CO₂ 排出量の削減のみならず、運用コストの削減も提供します。これが都市内配達システムの未来です」(マーク・リストセーヤ:MFTBC 代表取締役社長・CEO)



お客様向け仕様の「eCanter」

三菱ふそうトラック・バス株式会社

神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号 TEL 044-330-7701 広報部 / Tel 044-330-5830

MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

1-1-2, Kashimada, Saiwai-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa 212-0058, Japan Corporate Communications / Tel +81-44-330-7701 Fax +81-44-330-5830

www.mitsubishi-fuso.com

Recycled Paper

お客様の様々な用途に対応

物流業界内においても、お客様のビジネスは様々な業務があり、当然車両の仕様も異なり、電気小型トラック「eCanter」を従来のディーゼル車で行っていた業務と同じ条件で使用する必要があります。「eCanter」を選択頂く理由は、騒音問題、排気ガス削減、車両の維持管理や経済的な貢献を含め、多々あります。MFTBC は「eCanter」のドライバーの方に、車両の操作方法のトレーニングを提供します。ベルリンのお客様へはダイムラーグループのリース会社であるチャーターウェイ社を通じて、長期間の車両リースにより車両を提供します。今回計 14 台の「eCanter」をお客様に納車します。

環境に優しく経済性に優れた「eCanter」について

電気小型トラック「eCanter」は、今日の都市が抱える騒音や排出ガスの課題を解決する答えとして、三菱ふそうが開発した車両です。欧州での実用供試を通して、環境に優しく経済性に優れていることが証明されています。今回欧州で発表した車両は、車両総重量 7.5 トンクラス、1.5 時間(直流急速充電)/11 時間(交流 200V)の充電で航続距離は 100km 以上です。電気駆動システムには、モーター(最大出力 129kW <連続定格 115kWh>、最大トルク 420Nm <連続定格 285Nm>)と、360V・82.8kWh(13.8kWh × 6 個)の高電圧リチウムイオンバッテリーを搭載しています。従来のディーゼル車と比較して、走行 1 万キロメートルあたり、最大 1,000 ヨーロのコスト削減を可能にしました。

これまでの過程

2010 年 9 月	「キャンターE-CELL」(プロトタイプ)IAA 2010 に初出展
2011 年 12 月	「キャンターE-CELL」(プロトタイプ) 東京モーターショー2011 年に出展
2013 年 6 月	「キャンターE-CELL」(プロトタイプ) 第二世代を発表 「キャンターE-CELL」(プロトタイプ) NEXCO 中日本様に実用共試
2014 年 7 月	「キャンターE-CELL」(プロトタイプ) ポルトガルにて実用共試
2016 年 4 月	「キャンターE-CELL」(プロトタイプ) ドイツにて実用共試
2016 年 9 月	「eCanter」(プロトタイプ) IAA 2016 にて世界初公開
2017 年 5 月	川崎工場にトラック用急速充電設備「EV パワーチャージャー」開設
2017 年 7 月	川崎工場にて「eCanter」(量産型)生産開始 トラマガル工場(ポルトガル)にて「eCanter」(量産型)生産開始
2017 年 9 月	ニューヨーク市にて「eCanter」世界に向けて発表
2017 年 10 月	「eCanter」セブン-イレブン・ジャパン様、ヤマト運輸様への車両引渡し式
2017 年 10 月	「eCanter」東京モーターショー2017 へ出展

電気トラックの開発で得られた豊富な経験に加え、MFTBC が属するダイムラーグループが保有する膨大な技術資源にアクセスできるという利点を活かします。ダイムラーは、電気駆動の分野に多大な投資を行い、乗用車部門とトラック部門間で相乗効果を生み出してきました。E-FUSO の車両に搭載するバッテリーは、ダイムラーの子会社であるドイツェ・アキュモーティヴ社(本社、ドイツ)が供給します。蓄電システムに特化するメルセデス・ベンツ・エナジー社(本社、ドイツ)がバッテリーの二次利用のスキームを提供する予定です。また、ダイムラーは世界最大の充電ステーションとインフラ整備のプロバイダーである ChargePoint 社(本社、アメリカ)と新型の急速充電バッテリーを開発する StoreDot 社(本社、イスラエル)にも出資しています。

電気商用車ブランド「E-FUSO」について

MFTBC は、新ブランドである「E-FUSO」を立ち上げることで、全車種の電動化に向けた取り組みを明確にします。この取り組みは、電動化プロセスの頂点である大型トラックの開発だけにとどまりません。今後、ふそうのトラックとバスの全車種に、電動パワートレインのオプションを追加していきます。各車両の発表時期は、求められる技術力と実現の可能性を検討し決定します。

以上

三菱ふそう ソーシャルメディア公式アカウント



<https://www.facebook.com/FusoOfficial>



<http://www.youtube.com/Fussofficial>